

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	サウンドエンジニアリング 4	
科目基礎情報						
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース		開設期	後期
対象年次	2 年次	科目区分	選択		時間数	30時間
単位数	1 単位	授業形態	実習			
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。					
担当教員情報						
担当教員	恒枝			実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン、エンジニア	
学習目的						
他学科とのコラボレーションやイベントの発表等の可能性を視野に入れつつ行う。 主にテーマ性を持ったインスト音楽（BGM系やゲーム系音楽）の制作方法を学ぶ。講師が指示した楽曲のテーマを元に、ジャンルやリズム、音源の選定を行い、実際に使用できるレベルの音源にできるように作業を行う。出来上がった楽曲を聴いて第三者がテーマをイメージできるよう想像力を働かせられるようになる。また、ある程度はテーマによってジャンルが決まってくるため、どのようなシーンでどのようなジャンルの音楽が使用されているのかを把握できることを目的とする。						
到達目標						
どんな現場、状況で使われるのか考え、テーマの内容を再現できる。どのようなジャンルの音楽がその時々に使われているかを理解し、そのジャンルを表現するための楽器や音色の選定、リズムを表現し、なおかつそこにオリジナリティを加えられるようになる。各ジャンルについて知ることはもちろんのこと、楽器の音色や曲の雰囲気を説明する際に必要となる音楽やアーティストの知識、楽器の名称や奏法を理解し、言葉で相手に伝えられるようになることを到達目標とする。						
教育方法等						
授業概要	学生個々が持つ音楽性等に留意しながら、グループレッスン形式で進行する。指示されたテーマを元に楽曲制作を行うためには、どのような知識やテクニックが必要であるかを意識しながら受講する。さらに、どのようなスキルがあれば思い描いたサウンドが具現化できるかを考え、様々な情報を入手することを意識する必要がある。必ず期限内に楽曲が完成できるように計画し、自身の技術と制作スピードのバランスに注意する。					
注意点	キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。音楽業界の動きや最先端の音楽等について概説するので、自分でも情報を収集し、演奏技能の向上に努める事。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価しない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験	0%				
	小テスト	0%				
	提出物	40%	授業内容の理解度を確認するために実施する			
	成果発表 (口頭・実技)	40%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する			
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画（1回～15回）						
回	授業内容		各回の到達目標			
1 回	テーマの確認、計画を立てる		取り組むテーマの決定と報告。それぞれに計画を立てることができる。			
2 回	制作 #03(1)		#03 1 回目 個別指導 技術的な講座を受け作品に反映できる。			
3 回	制作 #03(2)		#03 2 回目 個別指導 技術的な講座を受け作品に反映できる。			
4 回	制作 #03(3)		#03 3 回目 個別指導 技術的な講座を受け作品に反映できる。			
5 回	制作 #03まとめ		#03の制作のまとめ：報告・提出・成果発表することが出来る。			
6 回	テーマの確認、計画を立てる		取り組むテーマの決定と報告。それぞれに計画を立てることができる。			
7 回	制作 #04(1)		#04 1 回目 個別指導 技術的な講座を受け作品に反映できる。			
8 回	制作 #04(2)		#04 2 回目 個別指導 技術的な講座を受け作品に反映できる。			
9 回	制作 #04(3)		#04 3 回目 個別指導 技術的な講座を受け作品に反映できる。			
1 0 回	制作 #04まとめ		#04の制作のまとめ：報告・提出・成果発表することが出来る。			
1 1 回	テーマの確認、計画を立てる		取り組むテーマの決定と報告。それぞれに計画を立てることができる。			
1 2 回	制作 #05(1)		#05 1 回目 個別指導 技術的な講座を受け作品に反映できる。			
1 3 回	制作 #05(2)		#05 2 回目 個別指導 技術的な講座を受け作品に反映できる。			
1 4 回	制作 #05まとめ		#05の制作のまとめ：報告・提出・成果発表することが出来る。			
1 5 回	まとめ		2 年間のまとめ			